

# hand in hand

秋田県立大曲支援学校  
地域支援部報 第3号  
平成28年8月発行

7月29日（金）に本校体育館を会場に特別支援教育研修会を開催しました。本校の職員  
の他、県内の特別支援学校、大仙・美郷、仙北地域の幼稚園・保育所・小学校等からもたく  
さんの参加者がありました。研修会の内容を一部御紹介します。

講師：秋田県立大曲支援学校 教諭兼教育専門監 鎌田 誠氏  
演題：「気になる子どもへの対応」

## 主な内容

1. 特別支援教育を巡る最近の動向
2. 「気になる子ども」とは…
3. 「気になる子ども」への支援
4. 「気になる子ども」の保護者との関わり



研修会の様子

## 1. 特別支援教育を巡る最近の動向

H24. 7 中央教育審議会初中等分科会報告

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の  
推進」

### ※共生社会

これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった障害者が、積極的  
に参加・貢献していくことができる社会

### ※合理的配慮

障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使す  
ることを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行  
うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場  
合に個別に必要とされるものであり、学校の設置者及び学校に対して、体制面、財  
政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの

H25. 6 障害者差別解消法判定（H28. 4 試行）

- ・ 不当な差別的取り扱いの禁止
- ・ 合理的配慮の不提供の禁止

## 2、「気になる子ども」とは…

- ・発達障害について
- ・愛着障害について

### ※愛着障害

幼児期に長期的虐待やネグレクト（放置）を受け、子どもの頃に得るはずだった他者、特に養育者に対する安全感・安心感を獲得することができなかつたために引き起こされる障害の総称

## 3、「気になる子ども」への支援

事例を紹介していただきながら具体的な支援方法について教えていただきました。

## 4、「気になる子ども」の保護者との関わり

保護者と面談する際のポイント

「事前」

- ・面談の目的、同席するメンバー、終了予定時刻などについて伝え了承を得る。
- ・話しやすい環境をつくる。
- ・複数で対応するために、面談の流れや方向性、役割分担などについて確認しておく。

「面談中」

- ・共感的な態度で話を聞く。
- ・考え方が違うことを前提に少しでも話がかみ合う部分をさがす。
- ・子どものよいところやがんばっていることをなどを伝える。
- ・情報提供はするが結論は急がない、求めないなど。

「事後」

- ・面談の内容、保護者の態度などについて、整理して記録しておく。
- ・面談後の子どもや保護者の変化をよく見る。

### ～参加者からの感想～

- ・具体例が分かりやすかった。それに伴う支援の具体も分かりやすかった。
- ・発達障害や愛着障害の疑いのある子が最近増えているように感じる。
- ・関係機関との連携の大切さを感じる。
- ・一番困っているのは本人ということをお忘れず、一人一人に対応していきたいと思った。

たくさんの御参加ありがとうございました。

**相談窓口** 秋田県立大曲支援学校 TEL：0187-68-4123  
教 頭：松井 克彦 地域支援部主任：栗谷川 美和子  
清水 達也 特別支援教育アドバイザー：岩田 智子  
教育専門監：鎌田 誠 (大仙市立花館小学校内)